

第 97 回 埼玉県内企業経営動向調査－2016 年 10～12 月期－

調査対象：県内企業 567 社 調査方法：アンケート方式（11 月初旬 郵送回収）
 回答企業：234 社（回答率 41.3%） 業種別内訳：製造業 142 社 非製造業 92 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2016 年 8 月 23 日	100.13	16,497.36
(今回)2016 年 11 月 7 日	104.44	17,177.21

概況

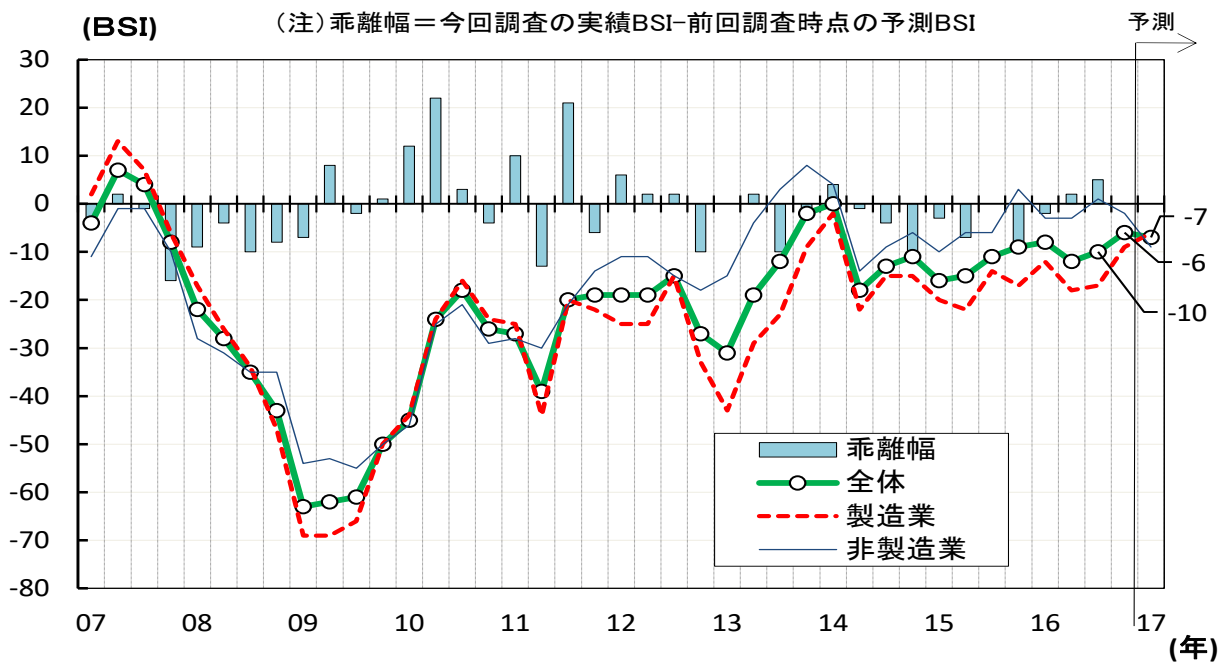
埼玉県内企業の業況感は緩やかに持ち直している。今回(2016 年 10～12 月期)の業況判断 BSI は-6 と、前回(7～9 月期)比 4 割改善し 2 四半期連続で上昇している。

規模別にみると、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）はほぼ横ばいながら、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）は、マイナス幅が縮小し、業況感は持ち直している。

業種別にみると、製造業は持ち直している。素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品が需要の増加から、加工組立型業種では、輸送用機械が生産増から、電気機械器具が自動車や住宅向けの需要増から、それぞれ持ち直している。非製造業は若干後退している。一般建設は受注の持ち直しから回復がみられるものの、小売は売上の停滞から後退している。

先行き(2017 年 1～3 月期)の予測業況判断 BSI は-7 とほぼ横ばいとなる。業種別にみると、製造業では、加工組立型業種のうち、輸送用機械、精密機械が需要増から、回復に向かう見通しである。一方、非製造業では、一般建設が受注確保の不透明感から弱含む見通しである。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～緩やかに持ち直し～

埼玉県内企業の業況感は緩やかに持ち直している。今回(2016年10～12月期)の業況判断 BSI は-6 と、前回(7～9月期)比4ポイント改善し2四半期連続で上昇している。

規模別にみると、「規模の大きい企業」(従業員100人以上)はほぼ横ばいながら、「規模の小さい企業」(従業員100人未満)は、マイナス幅が縮小し、業況感は持ち直している。

業種別にみると、製造業は持ち直している。素材型業種では、鉄鋼・非鉄金属、金属製品が需要の増加から、加工組立型業種では、輸送用機械が生産増から、電気機械器具が自動車や住宅向けの需要増から、それぞれ持ち直している。非製造業は若干後退している。一般建設は受注の持ち直しから回復がみられるものの、小売は売上の停滞から後退している。

図表2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2015年			2016年				前回予想	2017年 1～3月 (先行き)
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
全体	-15	-11	-9	-8	-12	-10	-6	-6	-7
100人未満	-20	-15	-14	-17	-13	-19	-10	-7	-12
100人以上	-11	-6	-3	1	-11	-1	-3	-5	-3
製造業	-22	-14	-17	-12	-18	-17	-9	-11	-6
100人未満	-29	-15	-22	-18	-22	-24	-13	-8	-9
100人以上	-15	-13	-12	-5	-14	-9	-3	-14	-3
素材型	-27	-23	-23	-30	-27	-33	-14	-14	-14
紙加工品等	-33	-8	-8	-25	-8	-17	0	8	-18
化学・プラスチック・ゴム製品	-17	-17	-18	-36	0	-9	-9	0	-9
鉄鋼・非鉄金属	-38	-38	-42	-42	-43	-42	-18	-33	-9
金属製品	-31	0	-33	-33	-42	-50	-10	-33	-20
その他素材型	-18	-42	-15	-15	-38	-44	-27	-13	-13
加工組立型	-18	-6	-19	-3	-23	-8	-5	-10	4
一般機械器具	-16	-15	-11	-12	-6	-7	-14	-14	-7
電気・情報通信機械器具	-33	-7	-18	-14	-33	-17	0	-8	9
電子部品・デバイス	-8	29	-25	-8	-50	8	-8	0	-33
輸送用機械	-31	-36	-50	8	-29	-18	0	-27	20
精密機械	0	0	0	15	0	-8	0	0	40
生活関連型	-22	-12	14	4	13	5	-5	-10	-14
飲・食料品	-18	21	36	17	42	25	9	0	-18
印刷・同関連業	-25	-50	-10	-8	-17	-22	-18	-22	-9
その他製造業	-14	-14	-50	0	0	-17	0	0	0
非製造業	-6	-6	3	-3	-3	1	-2	2	-9
100人未満	-7	-15	-4	-15	2	-9	-3	-4	-18
100人以上	-5	4	10	8	-7	9	-2	7	-2
一般建設	16	0	30	15	5	0	24	11	-10
住宅建設	-23	-33	-17	8	-8	18	-10	18	-20
卸売	-22	-6	0	-31	12	-8	14	0	14
小売	-21	-19	-4	-5	-22	5	-17	0	0
運輸・倉庫	8	8	20	8	-18	0	-9	9	-18
不動産	9	8	0	-29	8	-33	-10	-44	-10
その他非製造業	0	0	-12	11	0	12	-14	6	-14

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でプラスに転化～

製造業では、素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型の電気機械器具がプラスに転じている。一方、非製造業は、小売がマイナスに転じているが、住宅建設などでプラス幅が拡大している。先行きは、製造業では、加工組立型の輸送用機械、精密機械などでプラス幅が拡大する見通しとなっている。非製造業では、一般建設、運輸・倉庫がマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 16年4～6月	(前回調査) 16年7～9月期	(今回調査) 16年10～12月期	(先行き) 17年1～3月
全体	-9	-3	10	6
製造業	-7	-10	10	6
非製造業	-11	8	11	4
規模の小さい企業	-10	-12	9	-3
規模の大きい企業	-7	7	12	14

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でプラスに転化～

製造業では、素材型の鉄鋼・非鉄金属、金属製品、加工組立型の電気機械器具、輸送用機械がプラスに転じている。一方、非製造業では、住宅建設でプラス幅が拡大しているものの、小売がマイナスに転じている。先行きは、製造業では、素材型がマイナスに転じる見通しとなっている。非製造業では、小売がプラスに転じるものの、一般建設、運輸・倉庫などがマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 16年4～6月	(前回調査) 16年7～9月期	(今回調査) 16年10～12月期	(先行き) 17年1～3月
全体	-13	-5	4	-2
製造業	-17	-12	4	-2
非製造業	-8	6	4	-1
規模の小さい企業	-16	-14	3	-9
規模の大きい企業	-9	4	5	5

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でプラスに転化～

製造業では、一般機械器具、輸送用機械でプラスに転じている。先行きは、製造業では、素材型でマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 16年4～6月	(前回調査) 16年7～9月期	(今回調査) 16年10～12月期	(先行き) 17年1～3月
全体	-6	-1	3	1
製造業	-8	-2	6	1
非製造業	0	2	-3	3
規模の小さい企業	-11	-1	6	6
規模の大きい企業	0	0	1	-3

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で若干不足～

製造業は、加工組立型が過剰である一方、素材型、生活関連型が不足となっている。非製造業は、一般建設、小売、不動産で不足感がみられる。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 16年4～6月	(前回調査) 16年7～9月期	(今回調査) 16年10～12月期	(先行き) 17年1～3月
全体	0	1	-3	-2
製造業	3	2	-1	1
非製造業	-3	-1	-6	-6
規模の小さい企業	5	4	-2	-3
規模の大きい企業	-5	-3	-4	-1

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強い～

製造業では、金属製品、一般機械器具が不足に転じ、生活関連型の飲・食料品で不足感が強まっている。非製造業ではほとんどの業種で不足感がみられ、一般建設、運輸・倉庫、その他非製造業で不足感が顕著となっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 16年4～6月	(前回調査) 16年7～9月期	(今回調査) 16年10～12月期	(先行き) 17年1～3月
全体	-17	-23	-31	-27
製造業	-2	-7	-20	-17
非製造業	-36	-46	-48	-43
規模の小さい企業	-6	-19	-24	-22
規模の大きい企業	-29	-27	-39	-32

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～ほぼ横ばい～

製造業の素材型、非製造業の小売で厳しさがみられるものの、総じて緩和されている状況にある。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 16年4～6月	(前回調査) 16年7～9月期	(今回調査) 16年10～12月期	(先行き) 17年1～3月
全体	7	6	4	0
製造業	2	4	2	-3
非製造業	12	10	7	4
規模の小さい企業	-4	-1	-6	-8
規模の大きい企業	19	14	13	8

(以上)